



ふくおか【Good👍】農業人100

主な農産物／露地ギク、施設ギク、千両

樗木 正信さん (35歳) (営農地／糸島市蔵持、香力)

後継者として、地元の農業を盛り上げる

《就農のきっかけ》

幼い頃から農業が身近に

幼い頃から、農作業に精を出す両親の姿を見て育った樗木さん。家の仕事を手伝うこともあり、農業に慣れ親しんできました。そして自然に両親の後を継ごうと思うようになり、地元の糸島農業高校、県農業大学校を卒業後、20歳で本格的に就農することになりました。

《これまでの過程》

より効率の良い作業の仕方を常に模索してきた

幼い頃から懸命に働いてきた両親は、キク作りのベテランであり、大変頼れる存在。就農した当初はとにかく厳しく、最初は怒られる理由がよくわからないことも多かったそうです。そんな両親とともに働く中で、「この作業はこうすればもっと早く終わるんじゃないか」「この道具の方が防除効果が高いんじゃないか」など、効率の良い作業の仕方を自分なりに常に考えるようにしてきました。また、県農業大学校時代の友人や高校の同級生、地域の友人とのつながりを大事にしており、情報交換を頻繁に行っています。現在は、「売上を伸ばすためには、規模を拡大しなければいけない。そのためには、作業の効率化や省力化が可能な品種の選定、雇用の導入が必要だ。」との思いから、これらの実践のため日々奮闘中です。



プロフィール

- 家族構成／父、母、本人、妻、弟
- 営農年数／約15年
- 従業員数／9名
- 耕作(経営)面積／1.7ha
- 販路／県内外の花市場

《これからの展望》

若い力で産地を盛り上げていきたい

糸島は昔からの露地ギクの産地ですが、最近では部会員が高齢化してきています。そこで、これからは若手の自分達が積極的に盛り上げていきたいと強く思っています。「部会の定例会をもっと頻繁に行い、出荷基準をみんなで確認しながら、品質のそろったキクを消費者に届けたい。市場への販売促進を頻繁に行うことが必要。単価が安く、出荷量が減ったときには反省会をする。選別に関しても、キクを手取る消費者を思い浮かべながら、しっかりと行わなければいけないと思います。今後は部会をまとめ、産地を盛り上げていきたいと思っています。」と語ってくれました。



Good👍 成功のためのポイント

周囲の農家へよく足を運び、話をして、農家がどのような姿勢で、どのような感覚で取り組んでいるかを学ぶことが大切です。